

〔海況概要〕（令和3年7月22日～7月28日）

今週の本県近海の表面水温は、24～28℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕（令和3年7月22日～7月28日）

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の46%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週の44%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり3kgの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり150kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり228kgの水揚げで、前週の14%（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、カマスなどが1日1統当たり20kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり69kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり257kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり81kgの水揚げで、前週の4.5倍（前年並み）。

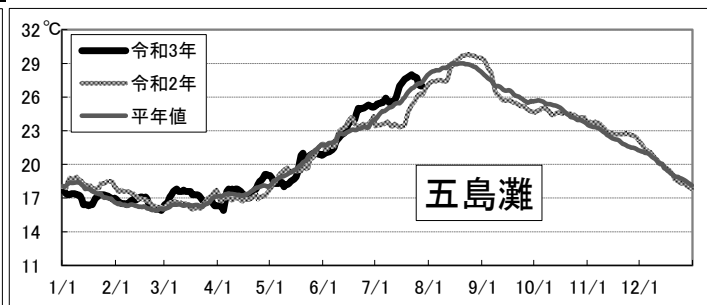
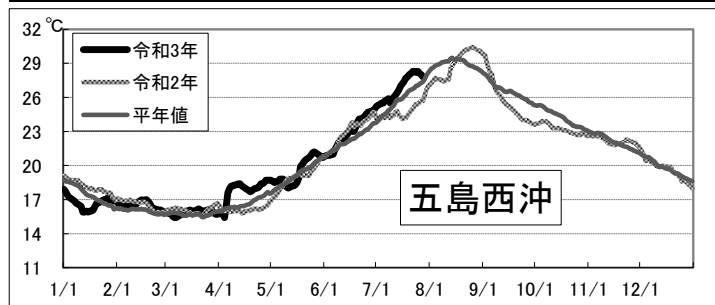
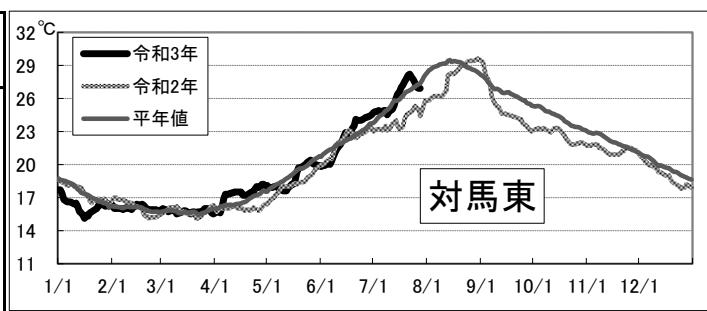
〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/20～7/28の9日間）沖合イカ釣、冷凍船は大和堆付近に出漁。赤イカは北太平洋に出漁。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～新潟沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。（漁業情報サービスセンターより）

〔海面水温情報〕 MGD SST（人工衛星水温）〔気象庁発表〕より

令和3年7月22日～令和3年7月28日の平均水温 ※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。

	水温	前週差	平年差
対馬東	27.4℃	0.2℃	1.0℃
五島西沖	28.1℃	0.5℃	1.1℃
五島灘	27.5℃	0.0℃	0.4℃



〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>